

5月の植物

ノハナショウブ (アヤメ科)

学名 *Iris ensata* Thunb. var. *spontanea* (Makino) Nakai ex Makino et Nemoto

今月の植物は5月の観察会のテーマであるノハナショウブを紹介します。ノハナショウブは湿った草地に生えるアヤメ科の多年草です。葉は長さ20~60cm、幅5~12mm。直立した葉には両面につき出した中央脈がはっきりしています。花はやや赤みのある紫色で、直径約10cm、外側に垂れ下がった3枚の花びら（外花被片）の基部には黄色の斑があります。また、やや早く咲き始める同じ仲間のカキツバタは外花被片の基部の斑は白色、葉の幅は2~3cmで中央脈がはっきりしない点でノハナショウブと見分けられます。

ノハナショウブは観賞用のハナショウブの原種に当たりますが、ハナショウブの葉も中央脈がはっきりしており、近縁種であることが分かります。

県内では生育地が限られており、佐賀県の絶滅危惧種（絶滅危惧Ⅰ類種）に指定されています。コロナウイルスの影響で今年5月の観察会は中止となりましたが、早く平常の生活に戻って、会員の皆さんと一緒にノハナショウブの観察ができることを願っています。（文責：伊藤幸子）



ノハナショウブ
(2019年6月1日 上峰町)



ノハナショウブ
(2019年6月28日 唐津市)